



能勢町長谷にて



不意に、夏の暑い風が舞い起こると、  
大きな葉は、  
申し台わせたようにざわざわと揺れた。

- ★暑いねえ〜 まったく(；；)
- ★風が吹いたって、熱風じゃあ べつしょうもない
- ★でも、無いよりはマシじゃあない??
- ★いやあ〜、もっと大風ならいいぞ知らず…
- ★大風だと倒れちゃうよあ(；；)

そんな会話が聞こえて来そうなきさといも畑。

『さといも』の主成分はでんぷんですが、いも類の中では低カロリーで、たんぱく質やビタミンB1、カリウムなどを含んでいます。日本で稲作が始まった縄文時代後期よりも以前に、日本に渡来したと言われており、江戸時代まではいも類の主流でした。

混み合った状態を『いもの子を洗うように』と言うのは、桶の中にいもを入れて、棒でかき回しながら洗ったことに由来します。皮をむく時に手がかゆくなるのを避けるための策ですが、塩を手につけてむけばかゆくならな  
いそうです。

『さといも』は、子孫繁栄の象徴ともされ、各地で「いも行事」が行われています。